

町の生活情報紙  
— IIIDE PUBLIC RELATIONS —

# 広報いいいで

9

8, September  
2016  
Vol.1074



災害に地域で備える

写真／9月4日、手ノ子川東地区による「自主防災訓練」



- 03 平成28年度成人式
- 04 いいで“めざまの里”まつり2016
- 05 社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会  
法人設立50周年・誕生60周年
- 06 皆さんの健康づくりを応援します！
- 08 安全へのステップアップ「交通安全」  
命を守る3ステップ  
まちかどNEWS
- 10 お相撲さんがやってきた／米坂線全線開通80周年「米坂線に  
手をふろう!!」／町営学習教室「いいで希望塾」開塾 ほか
- 12 表彰者の紹介／がんばりの軌跡
- 13 手ノ子落合地区に新たな白炭窯が完成／誕生！飯豊の  
牛乳と農産品を使ったアイスクリーム
- 14 直伝おふくろの味
- 15 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 16 いいで・ヘリテージ／町長の見て歩き
- 17 健康ikiikiプラス
- 18 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 20 第3回心の古里いいでフォトコンテスト  
入選「光芒降る」

## 町のホームページから さらに情報を！

町からのお知らせや情報は飯豊町ホームページにも掲載しています。大きなアイコンとすっきりしたデザインで、だれでも見やすく、欲しい情報が簡単にさがすことができるように工夫されています。どうぞアクセスし、生活情報に役立ててください。



[www.town.iide.yamagata.jp](http://www.town.iide.yamagata.jp)



the most beautiful  
villages  
in japan

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

### スマートフォンで広報誌から動画を見よう



左記の画像（白黒の場合もあります）が付いた写真（今月は4ページ）にスマートフォンをかざすと動画が始まります。無料アプリ「Aurasma」をインストールしてご覧ください。閲覧には通信費がかかります。

### 今月の 表紙

#### 意識と訓練で災害に備える



担架を使って行われた要支援者の搬送訓練

9月4日、手ノ子スキ一場で、手ノ子川東自主防災会による「防災訓練」が行われました。平成18年の会発足以来毎年実施し、今年で11回目。この日は約40名が参加して、西置賜防災センター長の講和や、避難訓練、炊き出し訓練、初期消火訓練が行われました。古川啓治会長は「自然災害への備えは、普段の心構えと地域の継続した訓練です」と、防災意識とともに、地域の助け合いの大切さを呼びかけました。





# 平成28年度 成人式



新成人代表による宣誓

8月15日、「あゝす」で成人式が行われました。今年度の新成人は78名で、うち59名が出席しました。

後藤町長は、激励の気持ちで3点に集約し、「ローカルイズグローバル」地域を知って大きな世界に踏み出してもらいたい。「幸せは自ら勝ち取らねばならない」華やかな世界に身を置いたからといって幸せにはなれない。「フロンティアたれ」豊かな社会は初めからあったわけではない。フロンティア精神を持って、現代のさまざまな課題にチャレンジしてもらいたい」と、式辞を述べました。

新成人を代表して野田晋吉さん（高峰出身・椿在住）は、「生まれ、育ち、学び、遊んだ飯豊町に感謝と誇りを持ち、我々の世代が飯豊町を、日本を引っ張り、より活気づけること、そして、次の世代へ引き継いでいく決意で、今後の人生を歩んで行くことを誓います」と宣誓しました。頼もしい言葉を受け、後藤町長は期待を込めて野田代表と固い握手を交わしました。

式典後、会場を物産館に移して、成人式実行委員会主催のパーティーが開かれました。



式典後のステージで記念の1枚



昔の友は今も友



旧友との再会を喜ぶ新成人たち

**Voice**

**佐藤琴巳成人式実行委員長（萩生）**



4月から看護師として働いています。患者さんに求められる看護師を目指してがんばっています。成人を機に裏方的な役から前に出てみよう、実行委員長を喜んで引き受けました。やりたいことにチャレンジして、見聞を広め、もっと成長したいと思います。

**Playback**

**新成人の生まれた年（1995.4.2-1996.4.1）**

- ◆出来事／オウム真理教教祖逮捕（5月）、首都圏と札幌でPHSの営業開始（7月）、Windows95発売（11月）、MLB野茂英雄投手が新人王（11月）、白川郷・五箇山の合掌造り集落が世界文化遺産に登録（12月）
- ◆世相・流行／無党派（青島元都知事）、NOMO（野茂英雄）、がんばろうKOBE（仰木元オリックス監督）、DA・YO・NE（EAST END × YURI）、変わらなきゃ（日産自動車㈱）、LOVE LOVE LOVE（ドリカム）、WOW WAR TONIGHT（H Jungle With t）、シャネラー、チビT流行、遺書（松本人志）、ソフィーの世界（J・Gaarder）



夏を思わせる青空が広がった9月3日、「あ〜す」でいいで「めざみの里」まつり2016が行われました。

まつりのスタートを飾ったのは、つばき保育園児による「ちびっこ獅子」。大勢の観衆が見守る中、愛嬌たっぷりに舞を披露し、会場を和ませました。

続いて、町建設組合による親子木工教室、ヤマメのつかみどり、食改による減塩料理の試食、消防団による防災フェスタ、自衛隊による制服試着や車両展示など、バラエティーに富んだ催事が次々と行われました。

音楽からのまちづくりを掲げる飯豊町らしく、音楽イベントも盛りだくさん。歌う消防士こ



威勢のよいWA踊り

と黒田彰久さんのライブ、飯豊中吹奏楽部による演奏、「いつも心に」の全員合唱、飯豊町出身がメンバーの「Four o'clocks」のライブ、恵畑ゆうお兄さんと藤田可奈子お姉さんによるファミリーコンサートなどが行われ、会場は多彩な音楽に溢れました。

恒例のWA踊りには、その日の浴衣や趣向を凝らしたコスチュームに身を包んだ25団体1260人の踊り手に参加。優雅に、あでやかに、そして元気いっぱいにめざみ音頭と花笠音頭を舞い踊りました。

最後は打上花火。400発を超える光の花が、楽しく活気溢れる祭りを締めくくりました。

# いいで “めざみの里”まつり

*Side Mezami no Sato Festival*



飯豊中吹奏楽部



ファミリーコンサート



つかみどり



会場全体で歌い上げる「いつも心に」



ちびっこ獅子のお囃子



ミニ消防車試乗



Four o'clocks のライブ





# 社会福祉法人飯豊町社会福祉協議会 法人設立50周年・誕生60周年



昭和40年代、廃品回収運動

昭和44年、梅津会長（医師）の衛生講話

昭和30年、飯豊村社会福祉協議会設立総会

## 決意新たに節目を祝う

8月11日、「あゝす」で飯豊町社会福祉協議会法人設立50周年・誕生60周年記念式典が行われました。式には、後藤町長や山形県社会福祉協議会の青山永策会長などの来賓と関係者など約380名が出席しました。

式辞で舟山兵八郎会長は「住民と共に実験的で開拓精神を基調とした福祉活動を手掛け、50年の節目を迎えることができました。このまちに暮らす人々が、地域での支え合いを通じ、『一人一人の『生』に光をあて、幸せを実感できる暮らしづくり』を実感していただけるように、また、飯豊らしさを大切にした優しさあふれる福祉のまちづくりに向かって、さらに邁進してまいります」と、節目の年を祝うとともに、地域福祉充実への決意を述べました。

式辞に続いて会長から、地域福祉活動に率先して取り組みその功績が顕著な方々に、特別表彰と感謝状が贈られました。また、記念事業「いいで町福祉の心コンクール」の入賞者表彰も行われました。

式典後、菊地幸夫弁護士を招いて、「人を許す時が自分を高める時」と題した記念講演会が行われました。

行われました。菊地氏は、近年のご近所トラブルや高齢者間のトラブルなどを事例にして、その解決は「住みやすい優しい社会には、相手に完璧を求めず、許すところは許す寛容の気持ちが大切」と所感を述べ、講演を締めくくりました。

## 50年の歩み

町社協は、戦後の荒廃した時代、住民自らが福祉向上の機運を高め、行政や上部団体と協力しながら、昭和30年4月「飯豊村社会福祉協議会」として設立しました。以来、半世紀にわたる、地域福祉の推進役としてそ

の活動の歴史を刻み、数多くの実績を積み重ねています。中でも、昭和35年の飯豊中学校を主会場とした「全国道府県社協組織指導職員研究協議会」は、社協憲法と称される「社会福祉協議会基本要項」の策定に大きな影響を与えた歴史的会議としても語り継がれています。



年号	社会の動きと町社協の取り組み
昭和20年	終戦
25年	社会福祉協議会組織の基本要領策定
26年	社会福祉事業法施行
27年	・豊原村社会福祉協議会結成（民生援護会から改名）
28年	・添川、豊川村社会福祉協議会結成
30年	・飯豊村社会福祉協議会設立（任意団体）
33年	・飯豊町社会福祉協議会設立
35年	・全国社協組織部長会議が山形県（飯豊町）で開催
37年	社会福祉協議会基本要項策定
41年	・飯豊町社会福祉協議会が社会福祉法人化
58年	市町村社会福祉協議会法制化（社会福祉事業法改正）
平成4年	新社会福祉協議会基本要項策定
5年	・役場庁舎から青年研修所に事務所移転（現商工会）
12年	社会福祉法に法名改正（旧社会福祉事業法）
12年	・在宅複合型老人福祉施設「福祉の里めぐみ」開所
22年	・町社協が社会福祉協議会優良活動表彰受賞
26年	・第1期町地域福祉活動計画策定

町社協に関係することは、太字で表し「・」を付けています

# 皆さんの健康づくりを応援します！

～平成28年度飯豊町健康教室のご案内～

健康医療室では平成25年3月に作成した「健康いいで21」に11項目の健康課題について目標と取組を掲げ、地域にお伺いし皆さんの健康づくりのお手伝いをしております。乳幼児健診、総合健診、健診結果説明会、こころの健康相談、地域の健康教室などを行っております。健康医療室には保健師と管理栄養士が常駐しております。健康のことでお困りのことや健康講話の依頼などありましたら、お気軽にお声掛けください。



 申込・問合せ先／町健康福祉課健康医療室 ☎86-2338

健康♡元気いいで町  
ポイント5点

## 第1回「糖尿病になんてならないぞ！」教室 ～楽しみながら糖尿病の予防について学べる教室です～

町の特定健診の結果をみると、HbA1c（血糖値）が「要指導」だった方は68.6%でした。（平成26年度法定報告より）HbA1cが6.0以上になると糖尿病予備軍と言われています。この教室は2年目となり、昨年の教室参加者のHbA1cは平均で0.3%改善しました。糖尿病にならないために、楽しみながらご自身の健康について考えてみませんか？

※HbA1c（血糖値）の正常値5.5%以下。要指導5.6～6.4%

【対象者】町または職場の健診などでHbA1cが6.0以上でおおむね75歳までの方

【場所】健康福祉センター（椿国保診療所となり）

【申込締切日】9月20日(火)

【参加費】無料

【定員】20名（申込者数多数の場合は先着順にさせていただきます）

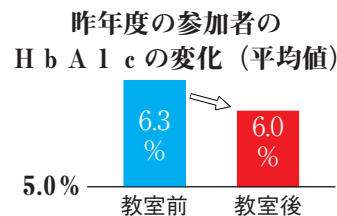


日時	内容
1回目 9月26日(月) 9:30～13:00 ランチ付	・糖尿病の基礎知識を楽しく学ぼう ・オリジナル運動で体をほぐそう ・食事について～実際に食べてみよう！～
2回目 10月28日(金) 9:30～11:30	・運動で血糖値を下げよう！ 講師／鹿俣体育研究所 健康運動指導士 鹿俣由美先生
3回目 11月8日(火) 9:30～11:30	50Kcalのヒミツ ～間食について考えます～
4回目 12月3日(土)	血液検査
5回目 12月22日(木)	個別で結果をお返しいたします

第2回は11月末ごろを予定しています

●●●●●昨年度の参加者の変化（平均値） ●●●●●

HbA1c-0.3%（右のグラフ）、体重-0.8kg、体脂肪率-1.1%



参加者の声  
椿地区 Y・Mさん

町の健診を受けた後、保健師さんに勧められてこの教室に参加しました。教室では糖尿病予防のことを勉強し、食事の最初5分間野菜を食べてからおかずや米を食べること、家にある運動器具を使って毎日運動することを頑張りました。食事と運動で自分の生活にあった方法を見つけることができたので、無理なく毎日続けることができました。その結果、HbA1cが0.4下がりました。教室に参加しなければ、何も変わらない生活をしていたと思うので、本当によかったと思います。



健康♡元気いいで町

ポイント5点

## 第1回「減量大作戦！」教室

～自分にあった健康的な減量方法が見つかる教室です～

痩せたいけど痩せられなかった、ダイエットはいつも3日坊主、ひとりではなかなか続けられない…こんなお悩みありませんか？適正体重を超えてしまうと、心臓病や脳卒中などの病気にかかるリスクが高くなります。飯豊町の死亡原因の2位が心臓病（18%）3位が脳卒中（12%）です。この教室は2年目となり、昨年の参加者は平均3.1kgの減量に成功しました。病気の予防のために、そして美しい体を手に入れるために、健康的に減量に挑戦してみませんか？

【対象者】身長と体重のバランスを示すBMIが25以上でおおむね70歳までの方

※BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m) で計算します

【場所】健康福祉センター（椿国保診療所となり）

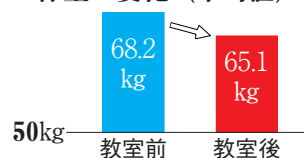
【申込締切日】9月30日(金)

【参加費】無料

【定員】20名（申込者数多数の場合は先着順にさせていただきます）



昨年度参加者の  
体重の変化（平均値）



日時	内容
1回目 10月13日(木) 9:30~13:00 ランチ付	・あなたはどのようにして痩せられない？ ～自分にぴったりの減量のコツを見つけよう～ ・食事を見直そう～実際に食べてみよう！～
2回目 11月7日(月) 9:30~11:30	・運動で減量～体が喜ぶ！心がリフレッシュ！～ 講師／鹿俣体育研究所 健康運動指導士 鹿俣由美先生
3回目 12月19日(月) 9:30~11:30	冬に太らないためのポイント
4回目 1月25日(木)	個人面談と教室のまとめ

第2回は12月上旬ごろを予定しています

●●●●●昨年度の参加者の変化（平均値）●●●●●

体重-3.1kg（右のグラフ）、BMI-1.4、体脂肪率-2.5%



参加者の声  
萩生地区 U・Mさん

町の健診でひっかかり、冬に太らないために何かしたいと思い、教室に参加しました。教室に参加し、減量には筋肉をつけることが大切だと学びました。毎日のウォーキング、家事の合間の筋トレ、食事の中でタンパク質を摂ることを心がけました。教室では-4kg、教室後も取り組みを続け、さらに-6kg、合計で-10kgの減量に成功しました。運動しながらの減量だったので、全身がたるむことなく健康的に痩せることができました。教室に参加して勉強できてよかったです。

## いいでウォーキング

健康♡元気いいで町

ポイント5点

飯豊の大自然の中を楽しみながらウォーキングします。ウォーキング後に美味しいランチ付です。どちらか1日でも大歓迎です。

【対象者】30～60分程度のウォーキングが出来る方

【申込締切日】それぞれ開催日の1週間前まで



日時	ウォーキングコース	参加費（昼食代）
9月30日(金) 9:30~13:00	添川コース	1,200円（入浴券付）
10月24日(月) 9:30~13:00	中展望台コース	1,000円

# STEP 2

## 自転車の危険を知り、安全に乗りこなす

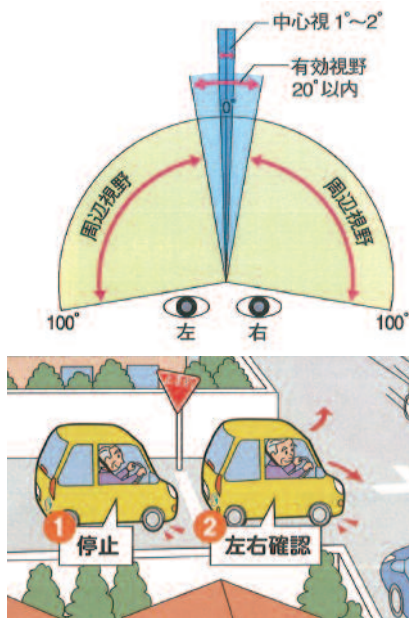
自転車は「車の仲間」です。誤った操作が大きな危険を招きます。平成15年9月東京地裁の判決では、男性が夕方にペットボトルを持ちながら下り坂を減速せずに走行し、交差点で横断歩道を歩行中の女性と衝突。女性は脳挫傷などを負い3日後に死亡。男性に約6,800万円の賠償を命じました。また、平成20年9月に少年（当時11才）が夜間に自転車で帰宅中に歩行中の女性と正面衝突。女性は頭がい骨骨折などを負い今も意識が戻っておらず、平成25年7月に神戸地裁が下した判決は、監督義務を果たしていないとして少年の母親に約9,500万円の賠償を命じました。自転車運転中まで携帯電話を操作する「自転車スマホ」をする社会人や学生もいるといいます。自転車は、車の仲間。**大変な事故や賠償を招きかねません。「交通安全は、家庭から」。**安全な自転車の乗り方を、大人も子どももご家庭のなかでよく確認しましょう。



▲一時停止して、右左を確認。安全のためにヘルメットの着用を



▲反射盤やブレーキなど点検を



### 「目配り」で出会い頭の衝突事故を防ぐ

県内の自動車事故の約25%が出会い頭の事故です。本町では、昨年13件の出会い頭の事故がおり、全体の約43%を占めています。主な原因は、一時停止の見落としや交差点での安全の不確認。事故を防ぐには「交差点がある」「一時停止がある」「周囲に走行車両や歩行者がいる」などを積極的に探し出す必要があります。つまり、広い範囲への目配りが重要なのです。

左図のように、目ではっきり見えている有効視野は20°以内。中でも物の形や色を明瞭に識別できるのは中心視1～2°とされます。

**目で追うだけでなく首（頭）を振って右・左・右（特に右が不確認となる事故が多いとされます。）を確認し、いつでもブレーキを踏める用意をする習慣をつくりましょう。**

# STEP 3

## メッセージ

長井地区交通安全協会  
会長 小松要一（萩生）



「交通安全」は、ありふれた言葉かもしれませんが、自らの大切な命、そして、ご家族や周りのたくさんの方の生活を守るための大切なキーワードだと思います。「しっかり止まってはしっかり確認」していただきたいと思います。また、町で飲酒運転が目立っており、その根絶も重大な課題です。小さなお子さんやご年配の方にも優しい運転をしていただき、この飯豊町にふさわしく、安全な町にしていきたいと思っています。



飯豊町交通安全協会  
連絡協議会長

横山昇一（手ノ子）

交通ルールを守り交通事故を起こさないように気を付けることは、大切なお自身の生活、命を守ることです。皆さんからご家族や地域の子どものために日頃の声掛けをお願いします。出掛けるときの「気を付けて行ってらっしゃい！」の一声が大切なのです。先日、自動車と自転車が衝突する事故が発生しました。歩行者や自転車が車に向かってくるかも…、車道側に転ぶかも…、横断するかも…の、「かもしれない」予測運転を必ずお願いします。



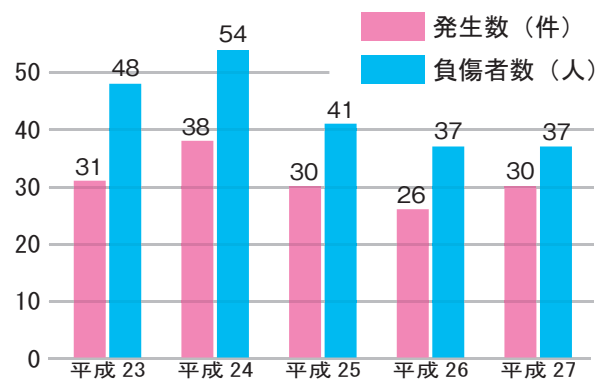
# 安全へのステップアップ

はじめに



「かけがえのない命は、自分で守るのが大原則です」。毎年春、各幼児施設や小学校で行う交通安全教室では、指導者が真剣な目で子どもたちに語りかけます。昨年発生した交通事故件数は、本町は30件、西置賜では白鷹町45件、小国町28件、県内で人口がほぼ同数の大石田町19件、朝日町21件。事故が少ないとは言い難い本町の数値です。安穏な本町の生活を1日、1月、1年と未来に繋ぎ、「命」を守る方法を3つご紹介します。

飯豊町の交通事故の発生状況 提供 長井警察署



大切な人の命を守る  
未来につながる優しい運転方法

問合せ先 役場住民税務課生活環境室 ☎87-0514

## STEP 1

### 大人はシートベルト全席、子どもはチャイルドシートを着用する

シートベルト全席着用、6歳未満児のチャイルドシート着用は、法令で義務づけられています。しかし、町内を見ると定着は不十分です。県内でも後部座席のシートベルト着用率は33.8%、全国でもチャイルドシート着用率は、5歳児で38.1%と低い状況です。時速60kmの車が衝突すると、ビルの14階からの落下と同等の衝撃で、体が車内で強打されたり車外放出され、命の危険に繋がります。後部座席の人がこれらを着用しないとその衝撃で前の座席を後ろから体で押し出すことになり、前列の人は押し出された座席とエアバックに挟まれて頭を強打するなど命の危機にさらされます。昨年3月には高畠町、今年5月には山形市などで車外放出による痛ましい事故が起きました。シートベルトとチャイルドシートの着用は、あなたの命と大切な人の命を守るためなのです。

▼シートベルトとチャイルドシートは必ず全席で着用を

×着用しないと交通事故で大惨事を引き起こします

▼出発前には、子どもが車の周りにいないか必ず確認を

▼到着したら、道路や駐車場で必ず「かもしか握り」を





まちかどニュースは、皆さんの広場です。  
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。  
役場総務企画課情報防災室まで（直通☎87-0522）



お相撲さんがやってきた

## 押しても、引いても

8月17日、小白川公民館で、大相撲の力士と地区の子どもたちが相撲を通して触れ合いました。五十嵐一男前区民会長が企画し、小国町で合宿中の東関部屋の関係者に相談して実現したものの。胸を貸したのは華王錦関と高盛関。子どもたちは、初めこそ一人ずつ勝負を挑むものの歯が立たず、人数を増やして数で勝負。押したり引いたりして何とか動かそうとするもびくともしない巨体に、最後は全員で押し相撲。ようやく子どもたちに軍配が上がりました。

町営学習教室「いいで希望塾」開塾

## 将来の希望に向かって



8月7日、あ～すで、中学生を対象とする「いいで希望塾」が開塾しました。同塾は、学校の補足的・発展的な学習機会を提供する町営の学習塾です。科目は英語と数学で、授業回数は各学年とも3月までに20回行われます。指導者は昨年度と同じ「英智学館」の講師陣。開塾式で3年生の木村暁塾生代表は「希望の仕事に就くため、学力向上を目指して入塾しました」と、覇気あふれるあいさつをしました。

米坂線全線開通80周年「米坂線に手をふるう!!」

## 地域の足として愛されて80年



8月28日、米坂線沿線で、同線全線開通80周年記念事業として、記念マークを車体につけた「快速べにばな」に向かって手を振るイベントが行われました。主催は米坂線整備促進期成同盟会。町内の3駅には60名ほどが集まり、のぼり旗や団扇、横断幕などを片手に、笑顔で列車に手を振りました。なお、当日の様子を列車内から撮影した映像が、10月上旬に町ホームページなどで公開される予定です。





## いいで子ども大学

## 先生はお姉さん

8月3～5日に、町教育委員会が米沢栄養大・米沢女子短大と連携して「いいで子ども大学」を開講しました。小学3～6年生の30名が参加して、初日は大学で学生たちが先生役の授業を受講し、2日目はxEV飯豊研究センターでセグウェイ試乗やビニールを溶かしてアクセサリー作り、3日目はあ～すで、読み聞かせなどを楽しみました。初日の授業は、化学変化を利用して麺の色を変えたり牛乳でゼリーを作ったりと、学生の専門知識を生かした内容でした。

## 第5回中村夏祭り

## 地域が集う夏祭り



8月16日、中村原広場で「第5回中村夏祭り」が行われました。会場にはステージや櫓が特設され、訪れた地域住民は、歌謡ショーや抽選会、盆踊りなどを楽しみました。「中村にぎわいWA踊り」と銘打った盆踊りは、提灯やススキで装飾された櫓の周りで行われ、浴衣や法被姿の踊り子が輪になって、めざみ音頭や花笠音頭に合わせて踊りました。フィナーレには約250発の花火が打ち上げられました。

## 中部地区子ども防災訓練

## 災害への備えを体験学習



8月5日から1泊2日で、第一小と中部地区公民館で「子ども防災訓練」が行われました。全国的に災害が頻発しているなか、災害時の備えとして自炊や救急法の学習と避難所での集団生活を体験してもらおうと、地区の子ども育成会連絡協議会が企画して、今回が初開催。自衛隊米沢地域事務所の協力を得て、4種の止血方法や負傷箇所の固定方法、ご飯の炊き方などを実習する、本格的な防災訓練でした。



8/15

真夏の雪まつり

(物産館)



8/14

第28回添川温泉ふるさと祭り

(しらさぎ荘前広場)



8/10

お盆の帰省者に、米ペースで交通安全キャンペーン (物産館駐車場)



## 日本赤十字社「金色有功章（社資功労個人）」

### 樋口哲也さん（萩生）

7月15日、天童市民文化会館において開催された「山形県赤十字大会」で、樋口哲也さんに、日本赤十字社名誉副総裁の秋篠宮妃殿下より「日本赤十字社金色有功章（社資功労個人）」が贈られました。この賞は、赤十字社においては最高位の表彰で、多額の私財を寄付された方などに対して贈られるものです。赤十字活動は、災害救護班の派遣や献血事業など幅広い分野で、私たちの日常生活の「もしも」を支えています。



秋篠宮妃殿下から金色有功章を受け取る樋口さん

## 山形県交通安全母の会連合会「連合会長特別感謝状」

### 伊藤喜和子さん（黒沢）

7月29日、山形県交通安全母の会連合会から、会結成50周年を記念して、伊藤喜和子さん（黒沢）に特別感謝状が贈られました。伊藤さんは、昭和47年に町交通安全母の会会員になられ、その後平成11年度から現在まで同会会長を務められています。また、平成21年度から昨年3月まで連合会長を務められました。伊藤さんは、「交通安全は家庭から。出勤や通学時の『いってらっしゃい。気をつけて』の一声を」と話されます。



報告に来庁された伊藤さん



第一小(一)、第二小(二)、添川小(添)、手ノ子小(手) ※敬称略

◆おじいちゃん・おばあちゃんへの絵手紙コンテスト

◇最優秀賞

- ・低学年の部／大谷部陸斗(一)
- ・高学年の部／高橋愛描(手)

◇優秀賞

- ・低学年の部／後藤絢香(二)、井上雄葵(手)
- ・高学年の部／長沼李央(手)、船山夏楓(二)

◇佳作

- ・低学年の部／平英翔(一)、高橋羽奏(同)、渡部珠生(二)、高橋瞭太(添)、田中史奈(手) 伊藤夢唯(同)
- ・高学年の部／菅野真央(一)、船山美咲(同)、舟山陽菜(二)、高橋拓夢(添)、勝負育実(同)、鈴木優介(手)

◆めどみの里まつり「すこやか川柳」【優秀作品】

◇1、2年の部／木村友奏(一)、渡部

珠生(二)、島貫央夢(手)

◇3、4年の部／田制聡吾(二)、遠藤佳帆(添)、岡田絆(手)

◇5、6年の部／菅野桃花(一)、遠藤聖稀里(添)、梅津愛(手)、

◇中学生の部／土田嘉哉斗、尾形玲旺、平山絵理

◆こども県展

◇入選／木村晴菜(一)、矢久保依奈(同)、木村里奈(二)、五十嵐彩矢可(同)、伊藤梨乃(同)、佃千里(同)、船山大成(同)、横澤湊子(添)、須貝遼太郎(同)、高橋優希(同)、井上菜里(手)

## おじいちゃん・おばあちゃんへの絵手紙コンテストの作品を展示しています

町内の小学生から作品を募って開催された絵手紙コンテスト。全341作品は、今月13日(火)まで「あ～す」に展示されています。祖父母との日常や思い出のシーンを描いたもの、目じりの下がった似顔絵などとともに、お孫さんたちの素直な気持ちがつづられた絵手紙をご覧ください。



低学年の部最優秀賞の大谷部陸斗くんとおじいちゃん、おばあちゃん



高学年の部最優秀賞の高橋愛描さんとおじいちゃん、おばあちゃん



## 手ノ子落合地区に新たな白炭窯が完成



窯が建設される前の土地。里山の一部を利用して窯が製作される



窯本体の製作最終工程。窯天井部分の壁塗り作業



窯を覆う作業小屋。9月中旬には全製作行程が終了する

### 町内では約20年ぶりとなる白炭窯の製作

町木炭生産組合（渡部岩次組合長）が、県と町の山の幸振興支援対策事業補助金を活用し、町内で約20年ぶりとなる8基目の白炭窯を製作し、このたび、窯部分が完成しました。窯の製作指揮は渡部組合長がおこない、後継者の育成指導も含めて進められました。8月3日から製作を開始し、29日には窯製作の最終工程である窯天井の壁塗り作業がおこなわれました。その後、窯を覆う作業小屋を建設し、9月中旬には初の火入れをおこない本格的に白炭を生産する予定です。今回製作した窯は7俵窯（炭1俵約15kg）で、一回の炭焼きで最大約105kgの白炭を作ることができます。

今後、この窯を使って白炭生産をする舟山政男さん（手ノ子）は「窯づくりはすべてが初めての体験で、窯づくりに際して助言や協力をいただいた多くの方に感謝します。良質な飯豊産白炭を生産できるように頑張ります」と話します。

## 誕生！飯豊の牛乳と農産品を使ったアイスクリーム。

飯豊の放牧牛の乳と農産品を使ったアイスクリームを開発したのは、町内の女性酪農家や飲食店、町などで組織する「いいでアイスクリームプロジェクトチーム」。

アイスは農家レストランエルベで販売され、シングル260円、ダブル380円、トリプル500円です。町内産のどぶろくやモモ

ラズベリー、さくらんぼ、パッションフルーツなど、飯豊を感じる味は全部で6種類。使用している牛乳は、広大な牧草地で牛をのびのびと育てている(株)飯豊ながめやま牧場（添川）のもので。

プロジェクトチームは、商品開発と同時にブランド化も進め、ブランド名やロゴマーク、などを決めました。ブランド名は、食べた時

に「<sup>おう</sup>oh！」と声を上げてもらえるような、山形で一番のおいしさを目指し「<sup>いいで</sup>i i d e <sup>やま</sup>山 <sup>おう</sup>oh！」。ロゴマークは、飯豊を囲む山々と牛乳に滴が落ちた時にできる「ミルククラウン」を図案化。

プロジェクトリーダーでエルベ社長の菅野衆治さん（中）は「アイスは年間を通して提供できる商品。そこに地元の野菜や果物を使うことで飯豊のおいしさも年間を通して提供できます。農家レストランとして、農家とお客様をつなぐ役目もあると考えているので、これからも地元食材を取り入れて、新しい味のアイスを作っていきたいですね」と、アイデアを膨らませます。なお、今月21日（12、20日は定休）までは平日限定でアイス全商品を100円引きで販売しています。

同プロジェクトチームは平成26年度に組織され、3年計画でアイスクリームとソフトクリームの商品開発を進めてきました。ソフトクリームは来年のゴールデンウィークごろに販売される予定です。なお、商品開発は、特徴ある牛乳の生産と販売、乳製品の6次化を進める「県ミルクブランド推進協議会」の事業の一環として行われたものです。





## 直伝おふくろの味



# 素材の甘さが上品に引き立つ一品 青きな粉と黒糖の寒天

## 【材料】

- ◆青きな粉寒天 400 cc
- ◇水 1.5 本
- ◇棒寒天 100 g
- ◇青きな粉 150 g
- ◇砂糖 2 g
- ◆黒糖寒天 600 cc
- ◇水 2 本
- ◇棒寒天 200 g
- ◇粉末黒糖 200 g
- ◇生クリーム 200 cc
- ◇塩 2 g

## 【作り方】①②までの調理は共通

- ①棒寒天を細かくちぎってたっぷりの水に浸し柔らかくする。
- ②棒寒天を固く絞り、鍋に分量の水と棒寒天を入れて、中火で寒天の姿がわからなくなるまで煮溶かす。
- ③【青きな粉寒天の調理】棒寒天が溶けた鍋に青きな粉(あらかじめ50ccの水で溶く)、砂糖、塩を加えてしっかりと混ぜ、粗熱をとったら容器に流し込み冷蔵庫で冷やす。
- ④【黒糖寒天の調理】棒寒天が溶けた鍋に粉末黒糖、生クリーム、塩を加えて混ぜ、粗熱をとったら容器に流し込み冷蔵庫で冷やす。

## 見た目も鮮やかな二種類の寒天をお茶請けにいかがですか

今回紹介する料理は見た目も鮮やかな青きな粉と黒糖を使った寒天です。どちらも和風の寒天ですので、緑茶との相性は抜群です。お友達とお茶会やお茶請けにどうぞ。

調理のポイントは、棒寒天を細かくちぎってから水にしっかりと浸すことで、煮溶かす時間を短縮できます。また、青きな粉寒天は青きな粉がだまになりやすいので、よく混ぜてから型に流し込んでください。

寒天に使う青きな粉は、粉自体にほんのりとした甘味があり、上品で癖がない甘い豆らしい香りがします。さらに、黒糖は砂糖と違ってまろやかな甘さと豊かな香り特徴でミネラル分を多く含んでいます。お子さんがいる家庭では動物の型やプリンなどの容器でかわいらしく仕上げてみましょう。



小白川地区  
食生活改善推進員

※右から順に

若山富美子さん

五十嵐絹子さん





## こどもみらい館の予定表

(9月・10月の日程)

会場/○印は各施設

- 9月24日(土) 10:30~ブックスタート  
 27日(火) 10:30~親子リトミック  
 28日(水) 10:00~添川児童センターの見学と説明会○  
 29日(木) 10:00~こども園幼児部の見学と説明会○  
 10月5日(水) 10:30~おはなし広場  
 6日(木) 10:00~つばき保育園の見学と説明会○  
 11日(火) 10:30~3歳児リトミック  
 12日(水) 10:30~あそびの広場・避難訓練  
 15日(土) 10:30~ブックスタート  
 19日(水) 10:30~かんがるー広場  
 20日(木) 10:30~運動会ごっこ

episode

## 「夏の夜空は語らいの場」

中のSさんより

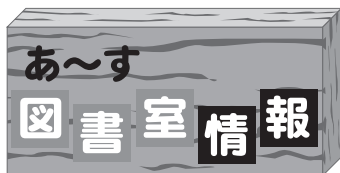
子育て応援  
kosodate  
ouendan 談

皆さんは子どもと夏を満喫しましたか?アクティブに活動することも楽しいですが、のんびりと時間を忘れ親子で語らう場も必要だと思います。

子どもが小学生の頃、夜に自宅前のアスファルトで仰向けになり星空を観察しました。ちょうど子どもが学校で星座の学習をしたこともあり、親子でさそり座や夏の大きな三角形を探したり星座にまつわる神話を語りあったことが思い出されます。子どもと二人で夏の夜空を見上げ一つ的话题で盛り上がり、うなずきあえたことで親子の距離がぐっと縮まったように感じました。子どもにとってはちょっとした時間だったかもしれませんが、私は日常の何げない会話ばかりではなく、季節にあった事柄や親子で共感できる話題を面と向かって話ができる時間を大切にしたいと思っています。

## ●こどもみらい館 ☎72-3336

開館日/火曜日から土曜日 休館日/月曜日、日曜日、祝祭日  
 利用時間/8:30~12:00、13:00~17:00

今月の  
おすすめ図書

## 児童図書

## こころのふしぎたんけんえほん

平木典子/監修 PHP研究所

どこにあるのが見えないところ。だけど、わたしたちの声や表情、仕草、そして何よりも言葉は、こころの状態を表現する。「友だちと喧嘩した」など、いろいろな場面での言葉や表現の仕方と、こころの動きをやさしく解説する



## 児童図書

## こんやもバクはねむらない

澤野秋文/作 講談社

なぜ夢を見られるのか知っていますか?実はたくさんのバクたちが、毎晩夢を配ってくれているのです。新米のピケが、先輩の指導のもと、幸せな夢を見せようと材料を集めてきますが、はりきりすぎて、つい失敗してしまい…。



## 一般図書

## あしたの君へ

袖月裕子/著 文藝春秋

名見習いの家裁調査官補は、先輩から、親しみを込めて「カンポちゃん」と呼ばれる。「カンポちゃん」の望月大地は、心を開かない相談者たちを相手に、真実に辿り着くことができるのか。



## 一般図書

## もしもごはん

今泉マユ子/著 清流出版

災害時でもなるべく日常と同じ食事ができるように、備蓄に適した食材を使ったレシピが満載。災害発生～3日目、4～7日目、8日目以降というステップに分け、手間なし、洗いものなしのポリ袋調理による最適レシピを紹介。

## ●開館時間 午前9時～午後6時(7月～9月)

※土・日曜日は午前9時～午後5時まで

## ●休館日 毎週月曜日・祝日

## ●問合せ先 町民総合センターあ~す図書室 ☎72-3111

# 飯豊遺産

## いいで・ヘリテイジ

⑥

### 菅笠づくり①

今回は飯豊町の三つの文化圏の一つ「中津川の生産と祈りの文化」から、菅笠作りについてお話します。飯豊町ではすべての地域で農作物などの生産を行っています。その中でなぜ中津川が特別に生産の文化なのでしょう。それは中津川が豊かな山林の資源を利用した物づくりを歴史的に行ってきた地域だからです。物を作るとき、現在ではプラスチックやビニール、金属などのさまざまな素材があります。しかしそのような素材がない時代、何を使って物を作るのでしょうか。それは土や石灰といった鉱物や、木や草といった植物を使ったわけです。

中津川では江戸時代から、木を材料とした、お椀・お皿・お盆・たらい・杓子・鋤・雪掃道具・下駄や、植物の皮を利用したざる・かますなどが大量に作られたことがわかっています。もちろん木材や炭も重要な商品でした。このような商品は

広く流通し、中津川に利益をもたらしました。中津川は、現在より江戸時代の方が人口が多いという地域です。

このような植物を利用した生産品の中で最も多く作られたのが菅笠でした。菅笠は湿地に生える菅という植物を利用して作った笠のことです。次回も、この菅笠のお話を続けたいと思います。



菅刈り

菅笠作り

問合せ先／社会教育課生涯学習振興室 ☎72-3111

## 連載 随想 町長の思ふ歩き

83

後藤 幸平

河原で芋煮を食べる習慣は、ごく普通の山形の風景である。いつごろからこんな催事が始まったのだろうか。自分の初体験は、「七日浴び」の行事のあとの芋煮である。むかし蛇行する萩生川の河原はうっそうとした森に囲まれており、大小の石がごろごろと転がっていた。本流に石を並べて堰き止め、水浴びの淀みを作る。手づくりのプールである。そこは子どもたちの秘密基地であり宝島である。川石を組んでかまどを作る。焚き木はもちろん流木を使う。そこで煮るイモは馬鈴薯だった。ササギとナスと汐クジラを入れてみそ味でグツグツ煮る。七日浴びの行事だから八月七日だったと思われる。大人たちはお盆前のお墓掃除してから芋煮の準備をしてくれたのだろう。

そんな自分の「芋煮体験」が、必ずしも一般的なものではないことが分かったのはかなり大人になってからのことである。山形の芋煮といえば、里芋、牛肉にコンニャク、そして醤油味だからだ。いずれにしても自前の畑でとれた旬のものが材料になる。真夏の七日浴びの芋煮と秋の

芋煮会、川で泳いだ後にハダカで食う馬鈴薯の芋煮と、澄み渡る秋空のもとの裸にはなれない里芋の芋煮。それぞれの味わいと楽しみ方なのである。

そもそも、河原に行くまで子どもならではの道順があつて、スモモがなっている家、桑の実がなっている場所、萱の実やグミの実などルート上にはけっして十分とはいえないまでも自然の恵みをいただく前段の行動があつた。忙しい現代では、前工程を省略するか、商業的にプロに任せして、いただきまますというところから始まるのが当たり前になってきた。前工程はテレビの料理番組ですべて解説済み、納得して、完成形だけをスーパーに駆け込む食文化に変化してしまった。

何もかもが手づくりだったかつての村の暮らしと、仕込みはプロに任せの都会的な暮らしと両方を経験した現代人の次の舞台はどんなものになるのだろうか。故郷回帰のスイッチが入り、「転出」から「転入」に転換する核心はきつと河原で食った「裸の芋煮会」に隠されている。



健康福祉課からの健康コラム

health column

健康に関する身近なテーマを2つ取り上げて、皆さんの健康づくりを応援します。



今月のテーマ  
 ・9月は「がん征圧月間」  
 ・ダンベルを使った優しい筋トレ

がんは、日本で昭和56年より死因の第1位で、平成26年には年間約37万人が亡くなり、生涯のうち約2人に1人ががんにかかること推計されています。

町の状況

がんで死亡する方は町でも年々増えていて、死亡者数で見ると、平成24年が26名、25年が46名、26年が36名、死亡原因の3割前後を占めています。部位別では、気管・気管支および肺、胃、大腸や直腸など、が多く、全国と同様の傾向にあるようです。町としてもがん予防に取り組んでいます。対象となる方に無料クーポン券を配布し、がん検診を受けやすくするための体制を整えたり、がん検診にて精密検査が必要になった方への受診勧奨、がん予防のPRなどを進めています。無料クーポン券は、大腸がん検診では40と60歳の方、子宮頸がん検診では20と40歳の5歳刻みの方、乳がん検診では40と60歳の5歳刻みの方が対象です。クーポン券が届いた方はご活用ください。

がんとたばこ

喫煙は、さまざまながんの、最大の原因とされています。最大の原因ではありませんが、幸い予防可

能なものであり、たばこを吸わないだけでがんになる危険性が低くなるといえます。現在、喫煙している方は、がんになるリスクが高い状態ではありますが、禁煙することによりリスクが下がってきます。肺がんや胃がんはもちろんですが、禁煙の効果が最も表れるが、禁煙がめずらしくない時代ではあります。たばこは子宮頸がんのリスクについてきちんと知ることが大切です。

がん検診

現在、町で実施しているがん検診は、胃、大腸、肺、子宮頸、乳前立腺の6つのがん検診です。これらのがん検診を年に1回（子宮頸と乳は1と2年に1回）受診することが大切です。がん検診の中でも、簡単に安く苦痛を伴わないものは大腸がん検診で、2日間の便潜血検査キットを提出するだけで検診終了です。大腸がん検診を受けることで、進行がんは50%、死亡率は60%以上減ることがわかっています。検査の苦痛もなく簡単にがん検診が受けられ、がんが見つかったとしても早期に治療ができることを考えると、毎年受けておきたいものです。

ダンベル体操 (パート6)

◆シットアップ

【効果】おなかの引き締め  
 【回数】10と20回を1セット。慣れてきたらセット数を増やしていきましよう動作はゆっくり行ってください。

①仰向けに寝て、少し足を開いて膝を軽く立てる。足を開く幅と膝の角度はやりやすい幅と角度で行う。



②胸の前で腕をクロスさせて、ダンベルを鎖骨のあたりで構える。



③肩甲骨全体が床から上がるように頭、肩の順に上体を起こしたら、①の状態に戻る。へその周りの筋肉を意識しながら、動きを止めないように連続して行う。上体を起こして戻して1回。



飯豊町役場

電話 0238-72-2111

FAX 72-3827

ホームページ www.town.iide.yamagata.jp

Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

## きのこ食中毒にご注意ください

山形県は平成24年からきのこ食中毒の発生件数が全国で一番多い県となっています。特に、ツキヨタケによる食中毒が多く発生しています。

◆ツキヨタケの見分け方／石づき（きのこの柄）を縦に裂くと、芯の部分に黒っぽいしみが見られます。しみが分かりにくいものがありますので、注意してください。シイタケ、ムキタケ、ヒラタケとよく間違われます。



◆問合せ先／置賜保健所生活衛生課  
☎0238-22-3740

## 秋の交通安全県民運動 (9月21日～30日)

日没が早まる秋冬は夕暮れから夜間の交通事故が多くなります。交通安全は家庭から。安全な町を創りましょう。

### ◆運動の重点

- ・子どもと高齢者に交通事故防止
  - ・夕暮れと夜間の歩行、自転車の事故防止。歩行者は反射材を身に着け、車は早めのライトを
  - ・全席でのシートベルト、チャイルドシート着用徹底
  - ・飲酒運転の根絶
  - ・横断時や交差点における事故防止
- ※意識して歩行者、自転車を守りましょう

◆問合せ先／役場住民税務課生活環境室 ☎87-0514

## 町民登山

### 「紅葉トレッキングを楽しもう」

- ◆日時／10月2日(日)7:20～16:10
- ◆集合場所、移動方法／あ～す(7:20出発)、マイクロバスで移動
- ◆行き先／月山(牛首～姥ヶ岳の周回コース)
- ◆対象者／小学4年生以上20名
- ◆参加費／大人1,500円、小学生1,200円※その他温泉利用料300円などその他費用は各自で支払い
- ◆その他／服装や持ち物は要問合せ
- ◆申込期限／9月24日(土)
- ◆申込・問合せ先／町社会教育課生涯学習振興室 ☎72-3111

### 女性作家たち大いに語る 角田光代&井上荒野&江國香織

- ◆日時／9月25日(日)14:00～16:20
- ◆場所／遊学館(山形市)
- ◆内容／座談
- 第1部:「何を読む? どう読む? 影響を受けた作品を語る」
- 第2部:「どう書く? 世界をどう見る? 作家的生活とは?」

- ◆チケット料／1,000円(全席自由)
- ※未就学児の入場はご遠慮ください
- ◆チケット購入・問合せ先／山形県生涯学習センター ☎023-625-6411

### 「徹底解説! 年次有給休暇」 無料セミナー

年次有給休暇について、社会保険労務士が実演を交えて分かりやすく説明します。セミナー終了後に個別面談も受け付けます。

- ◆日時／9月27日(火)13:30～
- ◆会場／山形ビッグウィング(山形市)
- ◆定員／先着200名
- ◆申込・問合せ先／山形県社会保険労務士会 ☎023-631-2959

## 除雪機械オペレータ募集

- ◆募集人数／2名
- ◆受付期間／9月26日(月)～10月3日(月)9:00～17:00 ※土日を除く
- ◆業務内容／公共施設や高齢者宅などの宅道除雪ほか
- ◆資格要件／大型特殊自動車免許を取得し、かつ車両系建設機械運転技能講習(整地・運搬・積み込み用および掘削用)を修了した方
- ◆決定方法／書類選考。必要に応じて面接
- ◆雇用期間  
12月1日～平成29年3月31日
- ◆勤務条件
  - 賃金／日額11,200円
  - ※町の規定により通勤手当を別途支給
  - 勤務時間／8:30～17:00
  - 休日／原則土・日曜、祝日、年末年始
  - ※天候などの状況に応じて、時間外・休日に勤務する場合があります
  - その他／社会保険・雇用保険に加入
- ◆申込方法／申込書に必要事項を記入し、運転免許証の写しと車両系建設機械運転技能講習修了証の写しを添えて提出してください。申込書は建設室窓口または町ホームページから取得できます
- ◆申込・問合せ先  
役場地域整備課建設室 ☎87-0516

## 愛犬のしつけ方教室

- ◆日時／10月9日(日)9:30～12:00
- ◆場所／置賜保健所駐車場(米沢市)
- ◆申込期限／9月30日(金)先着45頭
- ◆参加費／犬1頭につき1,500円
- ※犬の参加資格があります
- ◆申込・問合せ先／置賜保健所生活衛生課 ☎0238-22-3750



こけきのほど  
**戸籍の窓**

(8月届け出分)

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
萩生 鈴木	陽菜乃ちゃん	(敬洋) 一子
椿 梅津	煌雅くん	(義愛) 浩
黒沢 渡部	晴日くん	(善彩) 彦夏

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
椿 財津堂 後藤	隆平さん	83
椿 厚生 山口	儀さん	82
手ノ子 萩 鈴木	禮三さん	92
黒沢 深瀬西 渡部	よしゑさん	96
添川 昭和 中村	ちよのさん	101
黒沢 深瀬東 佐藤	きく子さん	84
黒沢 坪沼 鈴木	八郎さん	76
椿 辻 小松	丘吉さん	81
黒沢 坪沼 佐藤	栄一さん	89
椿 小原 志田	うめ子さん	80
添川 東山 田辺	育子さん	80
中 沖 菅野	チヨ子さん	76

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

**人の動き**

8月分 ( ) 内は対前月比				
世帯数	2,397( 5)	転入	12	
人	男	3,645( -2)	転出	8
	女	3,838( -4)	出生	3
□ 計	7,483( -6)	死亡	13	

**県営住宅(飯豊アパート) 入居者募集**

- ◆詳細は問い合わせください。
  - ◆県営住宅/飯豊アパート(萩生3893-3)
  - ◇募集戸数/2戸
  - ◇間取り/6畳+6畳+4.5畳+DK
  - ◇家賃/14,900円~29,300円
  - ◇募集期間/10月11日(木)~17日(月)
  - ◇入居可能時期/12月上旬
  - ◆申込先/置賜総合支庁西庁舎1階総合案内窓口(長井市) ☎88-8200
  - ◆問合せ先/県営住宅指定管理者㈱西工不動産置賜事務所 ☎0238-24-2332
- 危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちの方へ**
- 消防法では、危険物取扱者免状と消防設備士免状の写真は10年以内に撮影されたものでなければなりません。10年経過している場合は速やかに書き換えを行ってください。
- ◆問合せ先/西置賜行政組合消防本部 ☎88-1797、消防署飯豊分署 ☎72-2222

**【お詫びと訂正】**

8月10日発行号3ページ「町民スポーツフェスティバル」に掲載しましたチームの写真に誤りがありました。黒沢チームの写真として別チームの写真に掲載していました。お詫びして訂正いたします。



黒沢チーム/綱引き

**山形県少年の主張大会**

- ◆日時/9月25日(日) 開会13:00
- ◆場所/山形ビッグウィング(山形市)
- ◆出場者/県内各地区ブロックの中学生代表15名
- ◆問合せ先/(公社)山形県防犯協会連合会 ☎023-624-3800

**全身性エリテマトーデスの療養相談会**

- ◆日時/10月4日(木)13:30~15:30
- ◆場所/置賜総合支庁(米沢市)
- ◆内容/山大医学部附属病院第一内科佐藤絃子医師による講演会と座談会  
テーマ「全身性エリテマトーデスと上手に付き合うために」
- ◆対象者/全身性エリテマトーデス治療中の方とご家族など
- ◆参加費/無料
- ◆申込期限/9月26日(月)
- ◆申込・問合せ先/置賜保健所地域保健予防課 ☎0238-22-3205

**置賜地域視覚障がい者情報交換会**

- 山形県立点字図書館では、視覚に障がいをお持ちの方の生活に役立つ情報提供や交流を目的として、情報交換会を開催します。
- ◆日時/9月16日(金)10:30~15:00
  - ◆会場/南陽市防災センター
  - ◆対象者/視覚障がい者とそのご家族や関係者
  - ◆内容/情報交換会、交流会、福祉制度説明(日常生活用具給付事業など)、障害者差別解消法について、機器の展示(操作体験もできます)
  - ◆参加費/無料(昼食・飲み物を希望される方は600円)
  - ◆申込・問合せ先/町健康福祉課福祉室 ☎86-2233

**コロニー希望が丘祭**

- ◆日時/10月1日(土)9:50~15:30
- ◆場所/コロニー希望が丘(川西町)
- ◆内容/AKEMIコンサート、花笠踊り、こぶし一座公演など
- ◆問合せ先/コロニー希望が丘ひめゆり寮 ☎0238-46-3102

**編集 後記**



◇先月から続いたお祭りの音の音も一段落してきました。朝晩は部屋に入ってくる風も涼しく感じてくるようになり秋の気配もちらほら見え隠れしています。食欲が一段と増す季節になりましたね。飯豊の農作物も順調に生育しているようで、収穫祭が待ち遠しく感じます。

◇今年も盛大に「めざみの里まつり」が開催されました。晴天に恵まれて多くのお客さままでにごわいをみせた会場では、音楽からのまちづくりを象徴するように、歌や音楽のステージが次々と催されました。生で聞く音楽は感動の連続でした。(だいち)

# 第3回 心の古里いいでフォトコンテスト

テーマ：訪れてみたい飯豊町～春（旬）・夏（花）・秋（収）・冬（灯）～

入 選 「 <sup>こう</sup> <sup>ぼう</sup> 光 芒 降 る 」



ISO200 1/50秒 F13

## 佐藤秀明審査員の講評

光芒というドラマチックな一瞬を的確に捉えた優れた作品です。ただしあまりにでき過ぎていて魅力に欠けるのはどうしてでしょうか。この美しい風景に作者はどのような意図で挑んで行ったのでしょうか気になるところです。この時に撮られたほかの作品を見たいような気がします。いい作品なのであえて言わせていただきました。

### 審査員 佐藤 秀明 氏

日本大学芸術学部写真学科卒業後、世界中の辺境を旅し、自然と人間、文化を独自の視野で撮り続けておられます。

17

Series

掲載順について  
 上位の作品から順に掲載します

## 受賞のよろこび

秋になると、この場所は光芒が発生しやすくなります。遠くに蔵王連峰の山並みが見え、眺望の良い場所です。毎年撮っていますが、この時は今までで最高の場面に出会えました。

鈴木 明吉 さん（南陽市）

撮 影 地 中津川地内